

屋号

(小口組) 一 二 三 五 六 七 八 九 十 千
 金 小 四 小 帝 山 三
 大 笑 大 一 二 三 中 千
 金 金 三

(吉一様) 吉 大 元

(十組) 十 五 六 七

(他製小) 石 石 九 三 小 A
 共 三
 一

大

Yama-Dai

笑

Iri-Yama_Dai

大

Sasu-Dai

三

Kane-San

小

Kaku-Ko

小

Maru-Ko

(或日時期のみ) 八 金

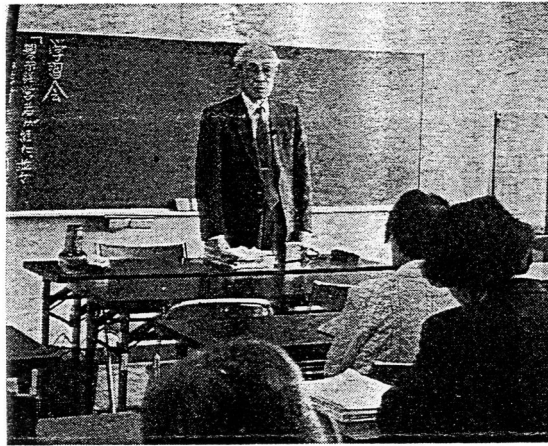
(巻上組) 八 十 本 千 一 三
 平 石 小 四 如 十 半
 永 太

ふるさとの製糸を考える 会で総会と学習会明日

小口さんの講演は一般も歓迎

ふるさとの製糸を考える会（清水袈裟春会長）の定期総会と四月学習会は、二十四日（水）午後一時から、岡谷市公民館で行う。総会は、午後一時から、七年度事業報告、会計報告、八年度事業計画案、予算案、役員改選などを議題に行う。学習会は午後一時半から四時まで、かつての大手製糸、小口組の直系で、二十年来岡谷と東京を往復しながら製糸の研究を続けている、小口定一郎さんを講師に迎え「製糸経営者が経た並々ならぬ困難苦勞と、生産向上の為の改良苦心」と題した話を聞く。学習会には、質問の時間もある。一般の人も、学習会への参加は出来るので、ぜひ多くの聴講をと呼び掛けている。聴講無料。

岡谷市民新聞 2006 年 4 月



小口さんの講演聞く

ふるさとの製糸を考える 会総会と学習会

ふるさとの製糸を考える会（清水袈裟春会長）は二十四日、定期総会と四月学習会を岡谷市公民館で行った。学習会は、かつて大

手製糸小口組の直系、製糸の研究を続けている小口定一郎さんを講師に招き、「製糸経営者が経た並々ならぬ困難苦勞と生産向上のため改良苦心」と題した話を聞いた。講演では、小口組の家系から始まり、小口組が個人会社で匿名組合であったことを解説。また、旧小口組資料を中心に、明治から

大正時代にかけて苦しくなってきた経営状態や養蚕農家の状況など苦勞や対策などを話したほか、資料をもとに春引きと夏引きの損、利益の研究結果を数的に表し、小口組の利益について分かりやすく説明した。訪れた会員らは、製糸業が盛んだった岡谷に深くかわる小口組の興味深い話を真剣に聞いていた。

岡谷市民新聞 2006 年 4 月 25 日

「春の赤字 夏に埋め」

ふるさとの製糸を考える会

学習会で小口さんが講演

岡谷市のふるさとの製糸
を考える会（清水製糸會
長）は二十四日、市公民館
で学習会を開き、製糸研究
家で、明治の大手製糸業小
口組の子孫にあたる小口定
一郎さん（東京都）が講演
した。
製糸経営の苦勞を題材に
した講演で小口さんは、二
―五月にした春引きは前年



語った。
特に、大正、昭和の製糸
―見た例外的なケースとの
見方を示した。

製糸経営
について
語る小口
定一郎さ
ん
〜
経営の苦勞
は大きく、
旧林家住宅
などを残し
た製糸家林
国蔵は、
「明治の間
に勝ち逃げ

長野日報 2006 年 4 月 25 日



Family emblem (まるにたちおもだか)



Title of firm (屋号; Yago) (山大; Yama-Dai)

Refer to a [Family Tree of "Yama-Dai"](#)

昭和七年十月上梓

平野村誌

下卷

長野縣諏訪郡平野村役場藏版

昭和七年十月上梓

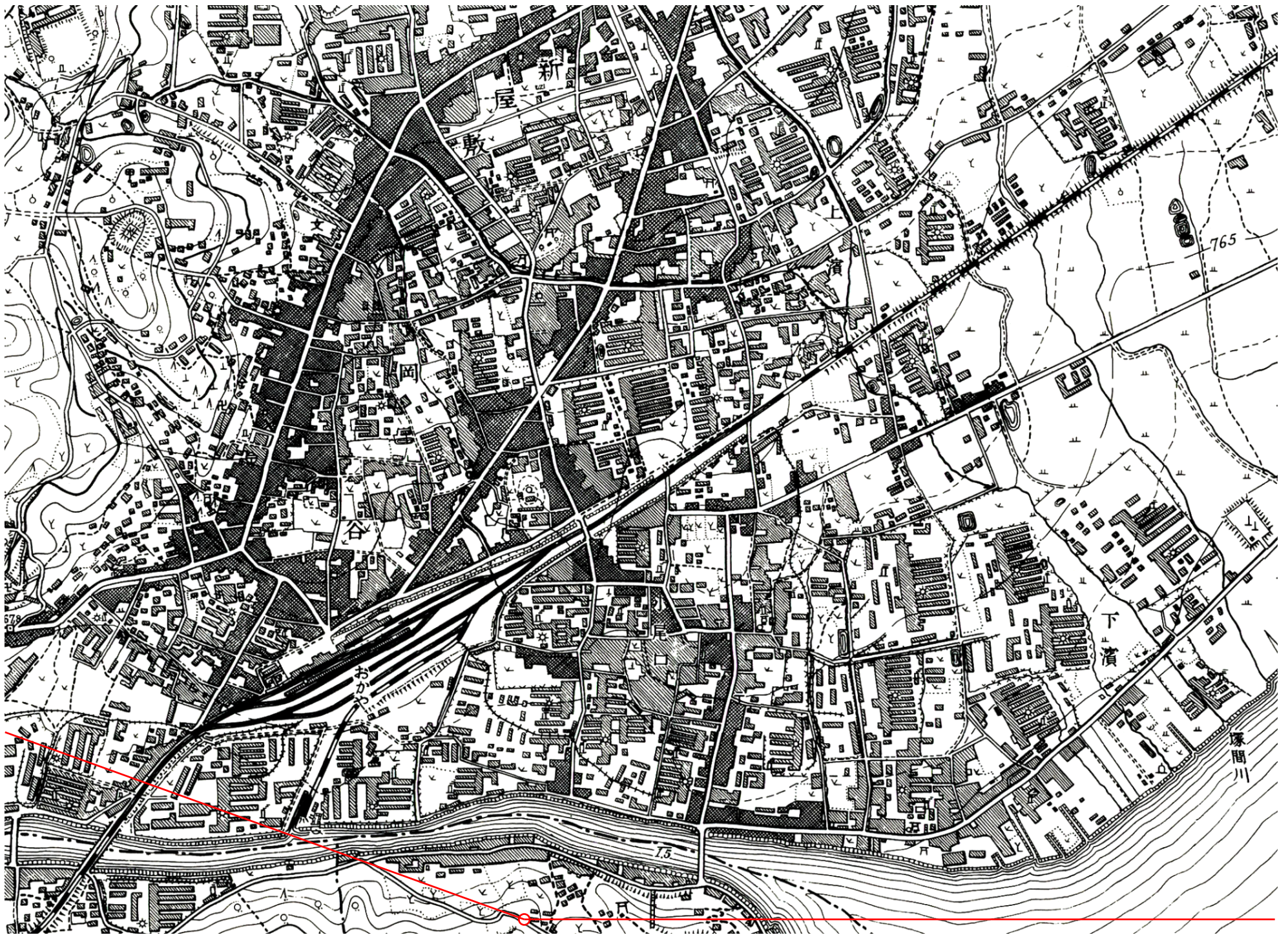
平野村誌

上卷

長野縣諏訪郡平野村役場藏版



Upper: Left portion (Two comb-like silk-reeling mills, Okaya station, and Shoko Temple (照光寺)) Lower: Right portion (a road, bridge, and shrine)



O: Probable shooting location, Two lines: Probable shooting range (Refer to a full range of [Hiranomura \(Okaya\) map](#) published in 1928)